

に各處産の種類を挙げ、それ等の近隣地方に於ける分布を表示、説明した後、中部千島の植物地理に論及し、中部千島は分布の廣い植物種が多く、その中でも周極分子が最も著しくて特産とすべき種が貧弱である、植物區系の上から北海道本島とは Arctic-Alpine のものが多い事が異なり、反つて北千島を含む勘察加地方と同じく ENGLER の Subarctic Region に入れらるべきものと斷定されたが同時に *Sasa*, *Taxus*, *Acer* 等の南方の系統のものも分布して居る事は注意すべきであると云はれ、そして ENGLER の Temperate East Asiatic Region と Subarctic Region とは Floral Components 及び Physiognomy の上から擇捉島と得撫島との間。即ち南千島と中部千島間とのを以て切らるべきものと説明されて居る、著者は更らに千島全體を南、中、北の三部分に分ちその各を更らに植物相の上から

- |         |                |             |
|---------|----------------|-------------|
| I 南千島   | 1) 國後島         | 2) 色丹島—擇捉島  |
| II 中部千島 | 1) 得撫島         | 2) 新知島—松輪島  |
| III 北千島 | 1) 捨子古丹島—溫瀾古丹島 | 2) 幌筵島—阿頼度島 |

の六つの小區分に分たれて居る、卷末には索引に次いで北日本の地圖と中部千島各島の地圖が添えてあり、北日本の植物に關する絶好の著である。

尙次の植物は此の報文で發表された新しい種類、組合せ、新産地又は分布上興味あるものである、(括弧内の數字は最初に掲載された頁數を示す)。

*Saxifraga Ohwii* TATEW. (199), *Oxytropis Itoana* TATEW. (202), *Saussurea kurilensis* TATEW. (214) var. *arachnoidea* TATEW. (238), *Draba hyperborea* DESV. (250), *Carex rigida* GOOD. (262), *Ranunculus acris* LINN. var. *subcorymbosus* (KOMAR.) TATEW. (268), *Primula sibirica* JACQ. var. *arctica* PAX (284), *Astragalus alpinus* LINN. (298), *Stellaria lancifolia* KOMAR. (248), *Sorbus kamtschatcensis* KOMAR. (200), *Akenophora kurilensis* NAKAI (212), *Luzula parviflora* DESV. (219), *Luzula arcuata* Wg. var. *unalaschkensis* BUCH. (292). (J. O.)

**初島住彦：—九州帝國大學農學部演習林報告第三號臺灣演習林植物調査** (豫報) S. HATUSIMA: Preliminary Reports on the Flowering Plants and Ferns collected in the Taiwan Experimental Forest of Kyushu Imperial University (1933) pp. 1-257.

林學も植物を基礎とする學問である以上その種類の調査の必要な事は當然であるが最近各帝大の演習林で此種に類する調査が盛に行はれて居るのは吾々に取つても非常に有益な事である、此の報文は特に樹木のみならず草木や羊齒植物までも網羅してあるので吾人の裨益する處も又大である、その目次を列舉して見ると

Sept. 1933.

223

緒言、一) 臺灣演習林の位置、地形、地質、氣候 二) 臺灣演習林植物の特徴 三) 演習林に於ける植相概説及び主なる群叢 四) 主要喬木の臺灣島内に於ける水平的及び垂直的分布 五) 演習林内に於ける主要樹種 六) 演習林内産珍奇植物 七) 演習林産植物数の統計 八) 演習林産植物目録 九) 索引。

九州帝大の臺灣演習林は臺北市から遠くない所にあつて海拔 90—921 m. の内を前後した山地帯で植物もその種類が少なくない、調査によるとオホバタブ、ウライガシ、タカサゴジヒ、ハンノハエゴノキ、イチキガシ、シマサルスベリ、フヂハシダ、タイワンヲガタマノキ、アカバナシキミ、ナンバンアハブキ、タイワンヤマモガシ等が主要な樹種で、林内にはムカシリウビソ、ジャカウシダ、タイワンシヤクジャウバナ、シマエビネ、サビバカンザブラウノキ、ウスバフウタウカヅラ、シマコバノカマツカ、ホウライセンリヤウ、シマアヲネカヅラ、ミヤヲサウ、マツムラサウ等の珍しい植物が生育する、741 種に達する林内産植物目録の各種別に和名と生育地と生活形の記載があり、備考にはその植物の分布や他種との區別點、應用方面等の記事がある、尙例によつて新しい學名を列擧すると(變種及び品種を除く)

*Polychroa arisanensis* (HAYATA), *Benzoin Cubeba* (PERS.), *Pourthiaea Beauverdiana* (SCHNEID.), *P. kankoensis*, *Elaeocarpus Makinoi* KANEHIRA, *Bobua ferruginifolia* (KANEH.), *Magus tenuiracemus* (HAYATA), *Mephitidia parvifolia* (HAYATA). (J. O.)

## 雜 報

### トビカツラ (*Mucuna sempervirens* HEMSL.)

肥後國鹿本郡相良寺の有名なるトビカツラは本春五月も多少の開花ありし旨相良寺法印千田光澄氏より報告あり。

### 臺灣杉 (*Taiwania*).

臺灣杉は先に支那雲南にも發見されしが今回亦 Upper Burma, Myitkynia district, Paypat bungalow 附近の山地六千呎の處に新に發見せる旨 M. Y. ORR 氏より報告あり。

### カハゴロモ屋久島に産す

土井美夫氏は今八月屋久島一湊川にカハゴロモ類似種を發見せらる。

### シマバラサウ (*Bergia ammannioides* ROXB.)

本植物は明治卅九年頃肥前國島原半島口の津村の水田中に生ぜしことありしが目